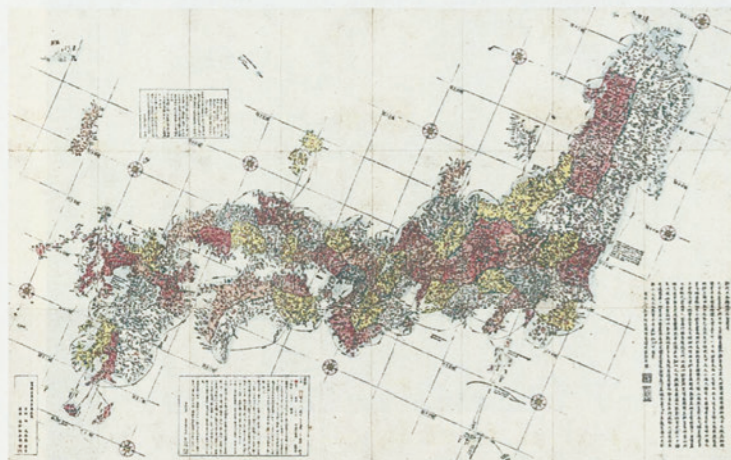
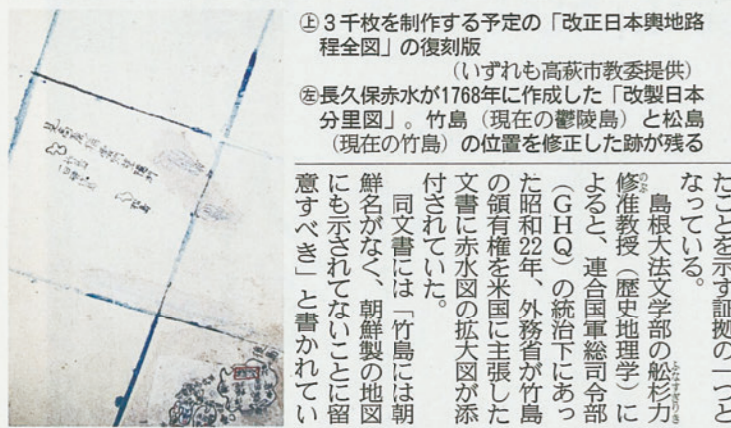


竹島明記 赤水図 広めたい

江戸時代のベストセラー



江戸時代の地理学者、長久保赤水（1717～1801年）が手掛けた日本地図「改正日本輿地路程全図」（1779年初版、通称・赤水図）の複製版が制作されることになった。赤水図には、現在の竹島（島根県隠岐の島町）が描かれ、江戸時代に日本が竹島の領有権を確立していたことを示す証拠の一つとされている。複製版で赤水の功績を広く伝えようと、長久保赤水顕彰会（茨城県高萩市）はインターネットで資金を募るクラウドファンディング（CF）に取り組んでいる。（坂田弘幸）



① 3千枚を制作する予定の「改正日本輿地路程全図」の複製版
 ② 長久保赤水が1768年に作成した「改製日本分里図」。竹島（現在の鬱陵島）と松島（現在の竹島）の位置を修正した跡が残る

幕府が発行許可
 赤水は、当時の地誌や伝聞などをとくに江戸時代後期（安永8（1779）年、経緯線が入った初めて）の日本地図である赤水図を完成させた。日本初の実測地図で知られる伊能忠敬の「伊能図」よりも42年早く、赤水図には、隠岐諸島の北西に「松島」（現在の竹島）と「竹島」（現在の鬱陵島）が表記されている。幕末まで版を重ねて一般に普及しており、当時の日本が竹島が広く認知されていたことを示す証拠の一つとなっている。

調査済み注目
 赤水は常陸国、現在の茨城県高萩市の農家の出身。幼くして両親や弟を失ったが、農業の傍ら勉学に励み、水戸藩6代藩主・徳川治保に学問を講義する待遇に登用された。

功績再評価を
 赤水が赤水図の作成にあたって、竹島を日本の領土として記した地誌「隠州視聽合記」（1667年）と、竹島への航路を示した「日本志山陰部隠岐国地図」（1752年）を参照していたことも分かった。

今年3月には、国の文化審議会が赤水の地図や文書など963点を国の重要文化財（重文）に指定するよう文部科学相に答申した。長久保赤水顕彰会の佐川春久会長（70）は「赤水は歴史上天なき役割を果たしてこなかった」と話す。重文指定を機に赤水の知名度を高めようと、顕彰会は専用サイト「CAMPFIRE」で赤水図の複製版の制作資金300万円を募るCFに取り組んでいる。期間は6月16日までで、寄付の返礼品として複製版を赤水の誕生日にあたる11月6日に発送する予定。

複製版は、赤水図の第2版を原寸大（縦84・6センチ、横128・8センチ）で再現。裏面には原図から第5版まで計6枚を掲載し、変遷を確認できるようにする。

佐川会長は「赤水の功績が正しく再評価されるきっかけになれば」と話している。URLは、<https://campaign-fire.jp/projects/view/249538>

複製版制作へ資金募る



長久保赤水の肖像画



長久保赤水

NAGAKUBO SEKISUI

関係資料693点が国民の財産に

祝 国の重要文化財に指定されました



長久保赤水 自画像

長久保赤水関係資料 693 点の国重要文化財指定が決まる。この資料群は、長久保赤水の子孫にあたる複数の家などに伝来した赤水手沢の一括資料で、地図・絵画類 84 点、文書・記録類 279 点、典籍類 274 点、書画・器物類 56 点から構成される。

赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸中後期の文化史、地図史等の学術的な研究上に価値が高い。（令和2年9月30日）

飛耳長目

令和二年五月三十一日
令和二年十月十日
（第二刷）

長久保赤水顕彰会会報 第三十号
発行責任者 佐川春久

国の重要文化財指定 記念号

長久保赤水関係資料 国の重要文化財 指定記念誌

絵本「りゅうのひかり」

磯田道史先生も推薦！
 『赤水図』に書かれた「関ヶ原の龍燈」の謎に迫る

絵・時崎清 文・夏井芳徳



りゅうのひかり

ときさき きよし

赤水は、『赤水図』と呼ばれる『改正日本輿地路程全図』（第二版）の中に、福島県いわき市の関ヶ原の龍燈について記述を残しています。

また、『東奥紀行』の地図や紀行文の『東奥紀行』、さらには『赤水文章』の中にも、その記述を残しています。なぜ記述を残したのでしょうか？その謎に迫ります。



国際日本文化研究センター准教授 磯田 道史

赤水は、この不思議な現象を淡々と記録する。そして、あえて謎解きはしていない。そのかわり、当時の文献から、国をこえて、同様な現象がないか調べ、中国の3か所に似た光があることを指摘している。不思議をみつけて、不思議のままに楽しみ、興味をもっている。不思議な現象を無理矢理、科学らしきもので説明する必要はなからう。自然界には、人間の理解を超えた不思議がいっぱいである。赤水の時代の江戸人は、その不思議と楽しく遊んでいた。そういう心の素晴らしさを、子どもたちにつたえてくれる本である。

好評販売中
 A4判変形、80ページ
 定価1,000円+税

日本橋の『ぶよお堂』に 長久保赤水コーナーが新設

日本橋の有名な地図専門店（株）ぶよお堂に、長久保赤水関係資料の重要文化財指定を記念して、長久保赤水コーナーを新設していただきました。絵本や赤水図のレプリカ、マンガ、現代語訳、切手、CDなどを販売していただけることになりました。

〒103-0027
 中央区日本橋3-18-16 ぶよお堂ビル地下2階
 ☎03-3271-2410です。

郵便局からのお振り込み
 郵便局からのお振り込みは、口座記号番号00380-6-9573、加入者名は、長久保赤水顕彰会です。入会していただける方は、年会費 3,000 円、ご寄付をしていただける方は、一口 1 万円です。何口でも結構です。よろしくお願いたします。

長久保赤水顕彰会事務局

〒318-0103 高萩市大能 341 代表 佐川 春久

Eメール : haruhisagawa@yahoo.co.jp
 ホームページ : <http://nagakubosekisui.org/>

長久保赤水顕彰会は全国534名で活動しています（5月25日現在）。国の重要文化財指定記念を機に、会員1,000名を目指し会員を募集しております！また、「通年」の寄付金も募集しております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。